

浜の活力再生広域プラン  
令和8～12年度  
第3期

1 広域水産業再生委員会

組織名	兵庫県広域水産業再生委員会 瀬戸内海養殖業広域部会
代表者名	部会長 田沼 政男（兵庫県漁業協同組合連合会 代表理事長）

広域委員会の 構成員	<p>兵庫県地域水産業再生委員会 31部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市漁協部会(神戸市)</li> <li>・明石浦部会・林崎部会・江井ヶ島部会・東二見部会・西二見部会 (明石市)</li> <li>・播磨町地区部会(播磨町)</li> <li>・東播磨部会(加古川市)</li> <li>・高砂地区部会(高砂市)</li> <li>・姫路市漁協部会・家島部会・坊勢部会 (姫路市)</li> <li>・岩見部会・室津部会 (たつの市)</li> <li>・相生漁協部会(相生市)</li> <li>・赤穂市部会(赤穂市)</li> <li>・由良町漁協部会・洲本炬口漁協部会・五色町漁協部会 (洲本市)</li> <li>・津名漁協部会・仮屋漁協部会・森漁協部会、富島漁協部会・浅野漁協部会</li> <li>・育波浦漁協部会・室津浦漁協部会・一宮町漁協部会 (淡路市)</li> <li>・湊漁協部会・南あわじ漁協部会・福良漁協部会・南淡漁協部会 (南あわじ市)</li> <li>・兵庫県漁業協同組合連合会</li> <li>・なぎさ信用漁業協同組合連合会</li> <li>・兵庫県（農林水産部水産漁港課）</li> </ul>
オブザーバー	(株)東海屋

対象となる地 域の範囲及び 漁業の種類	<p>〔地域の範囲〕</p> <p>神戸市（神戸市漁協）、明石市(明石浦漁協・林崎漁協・江井ヶ島漁協・東二見漁協・西二見漁協)、播磨町(播磨町漁協)、加古川市(東播磨漁協)、高砂市(高砂漁協・伊保漁協)、姫路市(姫路市漁協・家島漁協・坊勢漁協)、たつの市(岩見漁協・室津漁協)、相生市(相生漁協)、赤穂市(赤穂市漁協)、淡路市(津名漁協・仮屋漁協・森漁協・富島漁協・浅野浦漁協・育波浦漁協・室津浦漁協・一宮町漁協)、洲本市(由良町漁協・洲本炬口漁協・五色町漁協)、南あわじ市(湊漁協・南あわじ漁協・福良漁協・南淡漁協)</p>
---------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>〔漁業の種類〕</p> <p>ノリ養殖、カキ養殖、ワカメ養殖、魚類養殖、アサリ養殖、その他貝類養殖、等</p> <p>341経営体（令和5年11月時点）</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------

## 2 地域の現状

### (1) 地域の水産業を取り巻く現状等

兵庫県瀬戸内海側では、地域の自然環境や海域特性に応じて、ノリやワカメ等の藻類養殖、カキやアサリ等の貝類養殖、トラフグやローカルサーモン、サバ等の魚類養殖が営まれている。

養殖業は、漁場の収容力に合わせて施設を設置し、人為的に種苗を管理、育成するため、漁船漁業と比べて比較的安定した生産が可能であるが、本県の主力であるノリ養殖やカキなどの貝類養殖は、無給餌養殖であり、海中の栄養塩濃度やプランクトン量等の漁場環境に大きく左右される。

また、養殖期間中は養殖施設が設置されていることから、区画漁業権内では漁船漁業の操業を抑止することができ、水産資源の保護育成の役割を果たしている。

県養殖業生産額の8割を占めるノリ養殖においては、近年の生産量は約5万トン(12.4億枚)、生産金額は235億円である。本県のノリは、主に業務用として流通しており、一般消費者における県産ノリとしての認知度は低く、全国有数の生産量を誇る兵庫県産であることが単価に反映されにくい。しかし、ここ数年においては、ノリ養殖の一大産地である九州有明海では色落ちが原因で生産量が減少しており、全国的に供給が足りていないことから、県産ノリの単価は上昇している。

また、海域が慢性的な栄養塩不足の状態にあり、ノリ・ワカメの品質や生産枚数等に大きな影響を与えている。併せて、生産関連施設の老朽化などにより生産効率が低下しており、作業の効率化・省力化が求められている。

加えて、ノリ養殖の経営面では、刈取船や運搬船等の漁船、大型ノリ自動乾燥機や海苔種網冷凍庫を含む上屋等の加工施設の老朽化に加えて設備投資にかかる費用が高額になっているとともに、燃油代や機械整備費、ノリ網代、水道光熱費等経費が高騰しており、利益の減少に繋がっている。特にノリ養殖は燃油をはじめ漁業資材にも石油製品を多く利用していることから、国際情勢により変動する原油価格が、漁業経営に大きく影響を与えている。

一方、県養殖生産金額の約1.5割を占めるカキは、大粒で加熱しても縮みにくいのが特長であり、1年余りで出荷サイズとなることから、高品質な一年カキとして市場の評価を受け、生産も比較的順調に推移している。

しかし、カキ種苗の大半を他県産に依存しており、種苗の品質の良し悪しや、種苗の入手量や価格により生産量や生産額が左右される。

また、近年は生産海域で毎年のように貝毒による出荷停止や、地球温暖化による海水温の上昇が原因で生育不良やへい死が発生するなど、貝類養殖経営に関する不安要素が増えている。

以上のように、養殖業においては漁業経営に不安要素を抱えており、少子高齢化により漁業者の高齢化や後継者不足が進む状況下で若年層が漁業に将来を見出すためには、これらの課題を早急に解決していく必要がある。

#### 【参考：兵庫県瀬戸内海区の養殖業の生産量と生産金額】

	10年前 (H25年度)	5年前 (H30年度)	現在 (R5年度)
ノリ養殖業	45,879トン	68,225トン	49,836トン
	1,146,979千枚	1,705,627千枚	1,245,896千枚
	9,027百万円	20,041百万円	23,560百万円
カキ養殖業	8,903トン	8,652トン	8,407トン
	2,293百万円	3,005百万円	4,322百万円
養殖業計	58,049トン	81,231トン	61,887トン
	12,745百万円	24,444百万円	29,953百万円

※「兵庫農林水産統計年報」より

※ノリ養殖業の生産量は生換算重量、カキ養殖業の生産量は殻付き重量

(2) その他の関連する現状等

・本格的な人口減少社会の到来

県の総人口は2009年（平成21年）の560万人をピークに減少に転じ、2050年（令和32年）には現在より約108万人少ない423万人（24%減）となる見込み。また、高齢者の比率が高まり、2050年には65歳以上人口比率が40%（2015年＝27%）、75歳以上人口比率が26%（2015年＝12.7%）となる見込み。

・進む人口の偏在化

神戸、阪神地域などの都市部を含めて、県内全域で人口が減少しつつある。人口が減少する速度や割合は地域差が大きく、特に但馬や淡路、西播磨地域では2050年には現在の6割を切る水準にまで人口が減少する市町が生じることが予測されている。また、14歳未満の年少人口は全ての市町で減少する一方、65歳以上の老年人口は阪神地域などでは現在の約2倍にまで増加するなど、人口の高齢化、偏在化が進むとも予測されている。

・津波・高潮防災対策の推進

津波や高潮による被害から漁業者や地域住民の生命・財産を守るため、老朽化等により機能が低下した防潮堤などの海岸保全施設の機能強化や、浸水の恐れがある地域の海岸保全施設の新設及び改良などの津波・高潮防災対策が進んでいる。特に近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震等による津波対策については、「津波防災インフラ整備計画」に基づき計画的に実施している。

3 競争力強化の取組方針

(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

--

## ② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

### 1. 基本方針

平成26年3月に兵庫県地域水産業再生委員会及び各部会を設置し、漁業所得の向上を目指して「浜の活力再生プラン」計37プランを策定した。現在、魚価の向上や漁船漁業の振興、漁場環境の改善と漁業後継者の育成など漁業収入向上のための取組と、漁業経営セーフティーネット構築事業の加入促進や効率的な操業体制の確立を目指した省エネ操業の推進や省エネ機器の導入などの漁業コスト削減のための取組を実施している。

本プランは、これら既存の「浜の活力再生プラン」の取組を基礎として、県内養殖業者と各JF、JF兵庫漁連、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会、県行政・研究機関及び流通販売業者等が連携して広域的な取組を展開することで、両プランの相乗効果による養殖業者の競争力強化及び本県養殖業の振興を図る。

#### 【流通販売強化】

##### ① ノリやカキ等の流通促進・消費拡大

- ・県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、サーモン等をJF直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、様々なイベントに参加して一般消費者や商社・生協等の量販店に対して積極的にPRし、地域全体で販売促進・消費拡大を図る。また、ノリやカキについては輸出先国の求める基準を満たすよう事務手続きを的確に実施し、加えて、新たな輸出先国や地域に販路拡大していくために、ターゲット市場の調査や海外展示会等に参加する必要がある。
- ・カキについては、県内での知名度は上がってきたが、首都圏を含む大都市においては流通業者や消費者への知名度が低いいため、西播地区の各JFでブランド化したカキを生産したり、地域全体で牡蠣ワングランプリやシーフードショー等のイベントに参加してPRすることで全国的な知名度向上と販売促進・消費拡大を図る。

##### ② ノリやカキ等の商品開発と販売

- ・ノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等の消費拡大を図るため、新商品の開発に取り組むとともに試験販売を行う。
- ・カキの消費拡大のために、現在の垂下式養殖で生産するむき身及び殻付きカキを基幹としながらも、生食可能海域で生産する優位性を活用し、シングルシード方式による養殖ガキの販売ルートの確保を進める。

##### ③ 価格形成力の高い出荷体制の構築（出荷用施設整備など）

- ・県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等の国内競争力の強化に向けて、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に必要な施設の整備や改修、更新を行う。

#### 【機能再編、競争力強化】

##### ④ 養殖業の持続的発展を目指した対策の推進

- ・安定した経営体制づくりに向けた協議や大型ノリ自動乾燥機などの共同利用施設などの導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、持続的発展を目指した対策を協議し、実施する。
- ・IT技術を利用した新たな出荷体制や、乾ノリ等級付けの自動化などのノリの品質検査の合理化・効率化について検討する。

##### ⑤ カキ養殖の持続的発展を目指した対策の推進

- ・安定して種苗を確保する体制を整えるため、自家採苗技術の普及を進める。
- ・漁場環境を悪化させることなく、高品質なカキを持続的に生産するため、適正な養殖密度を守った養殖を推進するとともに、漁場環境の保全に必要な対策を実施する。

⑥ 新たな養殖技術の普及及び新品種の導入

- ・アサリやワカメの自家採苗、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモンの養殖等の新たな養殖技術の普及を図る。

⑦ 競争力強化に向けた取組

- ・操業コストが物価高により増大しているため、施設・設備の共同利用や種苗の共同購入など、協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。
- ・スマート化した魚類養殖用機器等の導入や漁業施設の整備・改修を検討し、生産性の向上や、省力・省コスト化を図る。
- ・漁業者等が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。
- ・海苔生産量の拡大を図るため、生産に係る共同利用施設の更新を行う。
- ・コスト削減のため、統一的な航行規制や船底清掃のほか、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。
- ・漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。
- ・その他、競争力強化に関する取組を行う。

**【漁場環境改善】**

⑧ 漁場環境の改善に関する取組

- ・漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施することで、漁船漁業及び養殖業広域部会における漁獲高の増大を図る。
- ・豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業業広域部会と連携して、「藻場・干潟等の再生」や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」、「森づくり」、「海底耕耘」などの水産多面的機能発揮活動を地域全体で推進する。
- ・特にノリ・ワカメの色落ち対策として「施肥」による栄養塩の供給や、「海底耕耘」を実施し、低層栄養塩の利活用や底質改善等を行う。加えて、兵庫県栄養塩類管理計画に定める目標値の達成に向けた通年での栄養塩類増加措置の実施や増加措置実施者の追加などを要望し、豊かな海づくりに関して消費者や県内各自治体、また他府県へ広報を行い、その必要性を啓発する。

**【機能分担・連携】**

⑨ 機能分担・連携に関する取組

- ・養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等に基づき、生簀や出荷施設、冷蔵庫など、より効率的な利用を図るための整備を検討する。

(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

--

② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

① 大輪田塾等による研修の実施

- ・ 県内漁業関係者（漁業者及びJF系統団体職員）を対象に、「大輪田塾」や「協同組合人養成講座」等の研修会を実施し、本県水産業の中核的担い手を養成する。

② 新規就業者や労働力の確保

- ・ 次世代を担う漁業者の育成と確保を図るため、新規漁業就業者総合支援事業（国庫補助）や外国人技能実習制度等を活用し、新規就業者の確保に努める。加えて、全国就業者確保育成センターが実施する漁業就業者支援フェアに出展し、県下の漁業の状況や水産会社の情報などを提供することで、漁業と縁のない若者が漁業へ新規参入しやすい体制づくりに努める。

③ 漁船等の更新

- ・ 中核的漁業者等が本プランに基づき収益性向上など競争力強化に取り組むため、漁船リース事業、機器等導入事業、新リース事業、漁業施設貸与事業（県補助）等を活用し、リース方式により必要な中古漁船又は新造漁船等の導入を図る。

(3) 資源管理に係る取組

瀬戸内海では、多種多様な魚種を獲る漁業や特定の魚種を選択的に獲る漁業が混在し、漁場や水産資源を重複して利用していることから、漁業法、漁業調整規則などの公的規制の遵守とともに、県下の漁場改善計画に基づく漁場観測や養殖密度管理を行い持続的な養殖生産の確保を図る。

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和8年度）

取組内容	<p><b>【流通販売強化】 【0】 【1】</b></p> <p>① <u>ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、JF直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、商社や生協等の量販店に対して積極的にPRし、地域全体で販売促進・消費拡大を図る。</li><li>・JF兵庫漁連が中心となって輸出している県産のノリやカキについて、既存の輸出先や商品に加え新たに開拓していくために、ターゲット市場の調査や海外展示会等に参加を図る。</li><li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、地域全体で県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、販売イベントを実施し、消費者等へPRするとともに消費拡大を図る。</li></ul> <p>② <u>ノリやカキ等の新商品開発</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ノリ養殖関係JF、JF兵庫漁連及びノリ商社等が連携し、県産ノリの消費拡大を図るため、県産ノリを用い開発した新たな味の味付け海苔や佃煮などの商品を販売する。また、新たな商品の開発に取り組む。</li><li>・カキ養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、県産カキの消費拡大を図るため、県産カキを用い開発したオイスターソースや牡蠣飯の素、殻付き牡蠣（冷凍）などの商品を販売する。また、新たなカキ加工品の開発に取り組む。</li><li>・ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等を用いた新たな商品の開発に取り組む。</li><li>・シングルシード方式による養殖ガキの販売ルートについて、各水産で既存の販売先に加えて、輸出国やネット販売先の拡大、また統一ブランドの開発などの検討を開始する。</li></ul> <p>③ <u>価格形成力の高い出荷体制の構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・養殖業者及び養殖関係JFが連携し、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に向け、大型ノリ自動乾燥機やその付帯設備、ノリ高性能刈取船、ワカメ加工施設、カキ殻洗浄機等の新たな施設整備を行う。</li></ul> <p><b>【2】 【3】</b></p> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p>④ <u>養殖業の持続的発展を目指した対策の推進</u> <b>【2】 【3】 【13】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、安定した養殖経営の体制づくりに向けて、協業化や、作業船、加工施設等の共同利用施設及び機器等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、養殖業の持続的発展を目指した対策を協議する。</li></ul>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・JF兵庫漁連のり研究所は、品質の安定化、作業の効率化を図るとともに、兵庫県等と連携し、高水温に強い品種や色落ちに耐性のある品種の開発に取り組む。

・ノリ養殖業者、ノリ養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、IT技術による検査の合理化・効率化や伸ばし出荷※などの新たな出荷体制について検討する。

※伸ばし出荷：養殖業者の生産する干海苔は、全形10枚を重ねて折り曲げ、紙の帯で束ねた状態で出荷箱に詰めて出荷しているため、納入先の加工業者は加工を行うにあたり、曲げた海苔を伸ばす工程が必要となっている。このため、こうした古い慣習による出荷方法から、折り曲げず伸ばした状態で出荷する方法に変えることで、養殖業者と加工業者双方の省力化や作業の効率化を図る。

#### ⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進

・カキ養殖業者、カキ養殖関係JF、JF兵庫漁連及び兵庫県が連携し、西播地区におけるカキ養殖の自家採苗技術の普及、推進を行う。

#### ⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討

・養殖関係JF、JF兵庫漁連及び兵庫県が連携し、アサリやワカメの自家採苗技術、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモン養殖等の新たな養殖技術について検討する。

#### ⑦ 競争力強化に向けた取組

・養殖業者は、施設・設備の共同利用や種苗の共同購入などの協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。

・養殖業者は、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【8】

・養殖業者、養殖関係JFは、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入や養殖施設の整備・改修を実施する。【9】【10】【12】【16】

・なぎさ信漁連は、養殖業者が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【11】

・養殖業者は、コスト削減のため、統一的な航行規制や船底清掃を実施する【15】

・漁港を管理する兵庫県及び各市町は、漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。【14】

#### 【漁場環境改善】

#### ⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組

・養殖関係JFは、養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、地域全体で適切な漁場管理を実施する。【4】

・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連等は、豊かな海づくりに向け、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携し

	<p>て、藻場・干潟等の再生や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「森づくり」を実施するとともに、栄養塩類の循環バランスに配慮した下水処理場等の「栄養塩管理運転の推進」等の普及を地域全体で推進する。【5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係JFは、海域の貧栄養化によって頻発しているノリ・ワカメの色落ち対策として、海域への栄養供給である「施肥」を行う。【5】</li> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者、ノリ・ワカメ養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、底層栄養塩の利活用や生物資源の生息環境改善のために有効な海底耕耘を実施すると共に、継続して行っていくために時期の選定やモニタリング体制の構築など円滑な実施に関する情報を地域全体で共有し、海域の環境管理を進める。【5】</li> </ul> <p>【機能分担・連携】</p> <p>⑨ 機能分担・連携に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖関係JFは、養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等を検討し、より効率的な利用を図るために必要な整備を検討する。【2】【3】</li> </ul> <p>【中核的担い手】</p> <p>● 中核的担い手の育成・確保に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF兵庫漁連及び一般財団法人 兵庫県水産振興基金は、漁業者及びJF系統団体職員を対象に、「協同組合人養成講座」や「大輪田塾」等の研修会を実施し、本県水産業の中核的担い手を養成する。</li> <li>・養殖業者及び養殖関係JFは、新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などを活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保を行う。</li> <li>・全国就業者確保育成センターが実施する漁業就業者支援フェアに出展し、県下の漁業の状況や水産会社の情報などを提供することで、漁業と縁のない若者が漁業へ新規参入できるように努める。</li> </ul> <p>【6】【7】【8】【9】【10】【12】</p>
活用する支援措置等	<p>【0】 広域浜プラン緊急対策事業</p> <p>【1】 水産物輸出加速化連携推進事業</p> <p>【2】 浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）</p> <p>【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>【4】 沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業</p> <p>【5】 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業</p> <p>【6】 経営体育成総合支援事業</p> <p>【7】 漁業収入安定対策事業</p> <p>【8】 漁業経営セーフティーネット構築事業</p> <p>【9】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</p> <p>【10】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>【11】 水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>【12】 水産業成長産業化沿岸地域創出事業</p> <p>【13】 養殖業成長産業化提案公募型実証事業</p>

<p>【14】 水産業競争力強化漁港機能増進事業</p> <p>【15】 ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援</p> <p>【16】 スマート水産業普及支援推進事業</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------

2年目（令和9年度）

取組内容	<p><b>【流通販売強化】 【0】 【1】</b></p> <p>① <u>ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、JF直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、商社や生協等の量販店に対して積極的にPRし、地域全体で販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・ JF兵庫漁連が中心となって輸出している県産のノリやカキについて、既存の輸出先や商品に加え新たに開拓していくために、ターゲット市場の調査や海外展示会等に参加を図る。</li> <li>・ 養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、地域全体で県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、販売イベントを実施し、消費者等へPRするとともに消費拡大を図る。</li> </ul> <p>② <u>ノリやカキ等の新商品開発</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノリ養殖関係JF、JF兵庫漁連及びノリ商社等が連携し、県産ノリの消費拡大を図るため、県産ノリを用い開発した新たな味の味付け海苔や佃煮などの商品を販売する。また、新たな商品の開発に取り組む。</li> <li>・ カキ養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、県産カキの消費拡大を図るため、県産カキを用い開発したオイスターソースや牡蠣飯の素、殻付き牡蠣（冷凍）などの商品を販売する。また、新たなカキ加工品の開発に取り組む。</li> <li>・ ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等を用いた新たな商品の開発に取り組む。</li> <li>・ シングルシード方式による養殖ガキの販売ルートについて、各水産で既存の販売先に加えて、輸出国やネット販売先の拡大、また統一ブランドの開発などの検討を開始する。</li> </ul> <p>③ <u>価格形成力の高い出荷体制の構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養殖業者及び養殖関係JFが連携し、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に向け、大型ノリ自動乾燥機やその付帯設備、ノリ高性能刈取船、ワカメ加工施設、カキ殻洗浄機等の新たな施設整備を行う。</li> </ul> <p><b>【2】 【3】</b></p> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p>④ <u>養殖業の持続的発展を目指した対策の推進</u> <b>【2】 【3】 【13】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、安定した養殖経営の体制づくりに向けて、協業化や作業船、加工施設等の共同利用施設及び機器</li> </ul>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、養殖業の持続的発展を目指した対策を協議する。

- ・ JF兵庫漁連のり研究所は、品質の安定化、作業の効率化を図るとともに、兵庫県等と連携し、高水温に強い品種や色落ちに耐性のある品種の開発に取り組む。
- ・ ノリ養殖業者、ノリ養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、IT技術による検査の合理化・効率化や伸ばし出荷などの新たな出荷体制に向けた機器の調整、出荷のテストを行う。

#### ⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進

- ・ カキ養殖業者、カキ養殖関係JF、JF兵庫漁連及び兵庫県が連携し、西播地区におけるカキ養殖の自家採苗技術の普及、推進を行う。

#### ⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討

- ・ 養殖関係JF、JF兵庫漁連及び兵庫県が連携し、アサリやワカメの自家採苗技術、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモン養殖等の新たな養殖技術について検討する。

#### ⑦ 競争力強化に向けた取組

- ・ 養殖業者は、施設・設備の共同利用や種苗の共同購入などの協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。
- ・ 養殖業者は、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【8】
- ・ 養殖業者、養殖関係JFは、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入や養殖施設の整備・改修を実施する。【9】【10】【12】【16】
- ・ なぎさ信漁連は、養殖業者が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【11】
- ・ 養殖業者は、コスト削減のため、統一的な航行規制や船底清掃を実施する。【15】
- ・ 漁港を管理する兵庫県及び各市町は、漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。【14】

#### 【漁場環境改善】

#### ⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組

- ・ 養殖関係JFは、養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、地域全体で適切な漁場管理を実施する。【4】
- ・ 養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連等は、豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場・干潟等の再生や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「森づくり」を実施するとともに、栄養塩類の循環バランスに配慮した下水処理場等の「栄養塩管理運転の推進」等の普

	<p>及を地域全体で推進する。【5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係JFは、海域の貧栄養化によって頻発しているノリ・ワカメの色落ち対策として、海域への栄養供給である「施肥」を行う。【5】</li> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者、ノリ・ワカメ養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、底層栄養塩の利活用や生物資源の生息環境改善のため海底耕耘を実施すると共に、継続して行っていくために時期の選定やモニタリング体制の構築など円滑な実施に関する情報を地域全体で共有し、海域の環境管理を進める。【5】</li> </ul> <p>【機能分担・連携】</p> <p>⑨ 機能分担・連携に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖関係JFは、養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等を検討し、より効率的な利用を図るために必要な整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p>【中核的担い手】</p> <p>● 中核的担い手の育成・確保に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF兵庫漁連及び一般財団法人 兵庫県水産振興基金は、漁業者及びJF系統団体職員を対象に、「協同組合人養成講座」や「大輪田塾」等の研修会を実施し、本県水産業の中核的担い手を養成する。</li> <li>・養殖業者及び養殖関係JFは、新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などを活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保を行う。</li> <li>・全国就業者確保育成センターが実施する漁業就業者支援フェアに出展し、県下の漁業の状況や水産会社の情報などを提供することで、漁業と縁のない若者が漁業へ新規参入できるように努める。</li> </ul> <p>【6】【7】【8】【9】【10】【12】</p>
活用する支援措置等	<p>【0】 広域浜プラン緊急対策事業</p> <p>【1】 水産物輸出加速化連携推進事業</p> <p>【2】 浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）</p> <p>【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>【4】 沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業</p> <p>【5】 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業</p> <p>【6】 経営体育成総合支援事業</p> <p>【7】 漁業収入安定対策事業</p> <p>【8】 漁業経営セーフティーネット構築事業</p> <p>【9】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</p> <p>【10】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>【11】 水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>【12】 水産業成長産業化沿岸地域創出事業</p> <p>【13】 養殖業成長産業化提案公募型実証事業</p> <p>【14】 水産業競争力強化漁港機能増進事業</p> <p>【15】 ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援</p> <p>【16】 スマート水産業普及支援推進事業</p>

<p>取組内容</p>	<p><b>【流通販売強化】 【0】 【1】</b></p> <p><b>① ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、JF直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、商社や生協等の量販店に対して積極的にPRし、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・JF兵庫漁連が中心となって輸出している県産のノリやカキについて、調査や展示会に参加した結果を基に、新たな輸出先や新商品を販売する。</li> <li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、販売イベントを実施し、消費者等へPRするとともに消費拡大を図る。</li> </ul> <p><b>② ノリやカキ等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖関係JF、JF兵庫漁連及びノリ商社等が連携し、県産ノリの消費拡大を図るため、県産ノリを用い開発した新たな味の味付け海苔や佃煮などの商品を販売する。また、開発した新たな商品の販売を行う。</li> <li>・カキ養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、県産カキの消費拡大を図るため、県産カキを用い開発したオイスターソースや牡蠣飯の素、殻付き牡蠣（冷凍）などの商品を販売する。また、開発した新たな商品の販売を行う。</li> <li>・ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等を用いた新たな商品の開発に取り組むとともに、新たに開発した商品の試験販売を行う。</li> <li>・シングルシード方式による養殖ガキの販売ルートについて、各水産で新たな輸出先・販売先へ試験販売を開始する。</li> </ul> <p><b>③ 価格形成力の高い出荷体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係JFが連携し、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に向け、大型ノリ自動乾燥機やその付帯設備、ノリ高性能刈取船、ワカメ加工施設、カキ殻洗浄機等の新たな施設整備を行う。</li> </ul> <p><b>【2】 【3】</b></p> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><b>④ 養殖業の持続的発展を目指した対策の推進 【2】 【3】 【13】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、安定した養殖経営の体制づくりに向けて、協業化や、作業船、加工施設等の共同利用施設及び機器等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、養殖業の持続的発展を目指した対策を実施する。</li> <li>・JF兵庫漁連のり研究所は、兵庫県等と連携し、開発した高水温に強い品種や色落ちに耐性のある品種の生産に取り組む。</li> </ul>
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・ノリ養殖業者、ノリ養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、IT技術による検査の合理化・効率化や伸ばし出荷などの新たな出荷体制に向けた機器の調整、出荷のテストを行う。

**⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進**

・カキ養殖業者、カキ養殖関係JF、JF兵庫漁連及び兵庫県が連携し、西播地区におけるカキ養殖の自家採苗技術の普及、推進を行う。

**⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討**

・養殖関係JF、JF兵庫漁連及び兵庫県が連携し、アサリやワカメの自家採苗技術、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモン養殖等の新たな養殖技術について検討する。

**⑦ 競争力強化に向けた取組**

- ・養殖業者は、施設・設備の共同利用や種苗の共同購入などの協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。
- ・養殖業者は、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【8】
- ・養殖業者、養殖関係JFは、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入や養殖施設の整備・改修を実施する。【9】【10】【12】【16】
- ・なぎさ信漁連は、養殖業者が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【11】
- ・養殖業者は、コスト削減のため、統一的な航行規制や船底清掃を実施する。【15】
- ・漁港を管理する兵庫県及び各市町は、漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。【14】

**【漁場環境改善】**

**⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組**

- ・養殖関係JFは、養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】
- ・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連等は、豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場・干潟等の再生や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「森づくり」を実施するとともに、栄養塩類の循環バランスに配慮した下水処理場等の「栄養塩管理運転の推進」等の普及を地域全体で推進する。【5】
- ・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係JFは、海域の貧栄養化によって頻発しているノリ・ワカメの色落ち対策として、海域への栄養供給である「施肥」を行う。【5】

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ・ワカメ養殖業者、ノリ・ワカメ養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、底層栄養塩の利活用や生物資源の生息環境改善のため海底耕耘を実施すると共に、継続して行っていくために時期の選定やモニタリング体制の構築など円滑な実施に関する情報を地域全体で共有し、海域の環境管理を進める。【5】</li> </ul> <p>【機能分担・連携】</p> <p>⑨ 機能分担・連携に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖関係JFは、養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等を検討し、より効率的な利用を図るために必要な整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p>【中核的担い手】</p> <p>● 中核的担い手の育成・確保に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JF兵庫漁連及び一般財団法人 兵庫県水産振興基金は、漁業者及びJF系統団体職員を対象に、「協同組合人養成講座」や「大輪田塾」等の研修会を実施し、本県水産業の中核的担い手を養成する。</li> <li>・養殖業者及び養殖関係JFは、新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などを活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保を行う。</li> <li>・全国就業者確保育成センターが実施する漁業就業者支援フェアに出展し、県下の漁業の状況や水産会社の情報などを提供することで、漁業と縁のない若者が漁業へ新規参入できるように努める。</li> </ul> <p>【6】【7】【8】【9】【10】【12】</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>【0】 広域浜プラン緊急対策事業</li> <li>【1】 水産物輸出加速化連携推進事業</li> <li>【2】 浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）</li> <li>【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業</li> <li>【4】 沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業</li> <li>【5】 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業</li> <li>【6】 経営体育成総合支援事業</li> <li>【7】 漁業収入安定対策事業</li> <li>【8】 漁業経営セーフティーネット構築事業</li> <li>【9】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</li> <li>【10】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業</li> <li>【11】 水産業競争力強化金融支援事業</li> <li>【12】 水産業成長産業化沿岸地域創出事業</li> <li>【13】 養殖業成長産業化提案公募型実証事業</li> <li>【14】 水産業競争力強化漁港機能増進事業</li> <li>【15】 ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援</li> <li>【16】 スマート水産業普及支援推進事業</li> </ul>

<p>取組内容</p>	<p><b>【流通販売強化】 【0】 【1】</b></p> <p><b>① ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、JF直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、商社や生協等の量販店に対して積極的にPRし、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・JF兵庫漁連が中心となって輸出している県産のノリやカキについて、調査や展示会に参加した結果を基に、新たな輸出先や新商品を販売する。</li> <li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、販売イベントを実施し、消費者等へPRするとともに消費拡大を図る。</li> </ul> <p><b>② ノリやカキ等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖関係JF、JF兵庫漁連及びノリ商社等が連携し、県産ノリの消費拡大を図るため、県産ノリを用い開発した新たな味の味付け海苔や佃煮などの商品を販売する。また、開発した新たな商品の販売を行う。</li> <li>・カキ養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、県産カキの消費拡大を図るため、県産カキを用い開発したオイスターソースや牡蠣飯の素、殻付き牡蠣（冷凍）などの商品を販売する。また、開発した新たな商品の販売を行う。</li> <li>・ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等を用いた新たな商品の開発に取り組むとともに、新たに開発した商品の販売を行う。</li> <li>・シングルシード方式による養殖ガキの販売ルートについて、各水産で新たな輸出先・販売先へ試験販売を開始する。</li> </ul> <p><b>③ 価格形成力の高い出荷体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係JFが連携し、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に向け、大型ノリ自動乾燥機や異物除去機、ノリ活性タンク、ノリ高性能刈取船、ワカメ加工施設、カキ殻洗浄機等の新たな施設整備を行う。 【2】 【3】</li> </ul> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><b>④ 養殖業の持続的発展を目指した対策の推進 【2】 【3】 【13】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、安定した養殖経営の体制づくりに向けて、協業化や、作業船、加工施設等の共同利用施設及び機器等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、養殖業の持続的発展を目指し協議した対策を実施する。</li> <li>・JF兵庫漁連のり研究所は、兵庫県等と連携し、開発した高水温に強い品種や色落ちに耐性のある品種の種網生産に取り組む。</li> </ul>
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・ノリ養殖業者、ノリ養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、IT技術による検査の合理化・効率化や伸ばし出荷などの新たな出荷体制に向けた機器の調整、出荷を本格的に行う。

**⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進**

・カキ養殖業者、カキ養殖関係JF、JF兵庫漁連及び兵庫県が連携し、西播地区におけるカキ養殖の自家採苗技術の普及、推進を行う。

**⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討**

・養殖関係JF、JF兵庫漁連及び兵庫県が連携し、アサリやワカメの自家採苗技術、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモン養殖等の新たな養殖技術について、前年度までの検討を踏まえ、普及に努める。

**⑦ 競争力強化に向けた取組**

・養殖業者は、施設・設備の共同利用や種苗の共同購入などの協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。

・養殖業者は、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【8】

・養殖業者、養殖関係JFは、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入や養殖施設の整備・改修を実施する。【9】【10】【12】【16】

・なぎさ信漁連は、養殖業者が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【11】

・養殖業者は、コスト削減のため、統一的な航行規制や船底清掃を実施する。【15】

・漁港を管理する兵庫県及び各市町は、漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。【14】

**【漁場環境改善】**

**⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組**

・養殖関係JFは、養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】

・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連等は、豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場・干潟等の再生や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「森づくり」を実施するとともに、栄養塩類の循環バランスに配慮した下水処理場等の「栄養塩管理運転の推進」等の普及を地域全体で推進する。【5】

・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係JFは、海域の貧栄養化によって頻発しているノリ・ワカメの色落ち対策として、海域への栄養供給である「施肥」を行う。【5】

	<p>・ノリ・ワカメ養殖業者、ノリ・ワカメ養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、底層栄養塩の利活用や生物資源の生息環境改善のために行ってきた海底耕耘について、モニタリングした結果を基に、時期や環境管理の検討を行う。【5】</p> <p>【機能分担・連携】</p> <p>⑨ 機能分担・連携に関する取組</p> <p>・養殖関係JFは、養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等を検討し、より効率的な利用を図るために必要な整備を行う。【2】【3】</p> <p>【中核的担い手】</p> <p>● 中核的担い手の育成・確保に関する取組</p> <p>・JF兵庫漁連及び一般財団法人 兵庫県水産振興基金は、漁業者及びJF系統団体職員を対象に、「協同組合人養成講座」や「大輪田塾」等の研修会を実施し、本県水産業の中核的担い手を養成する。</p> <p>・養殖業者及び養殖関係JFは、新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などを活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保を行う。</p> <p>・全国就業者確保育成センターが実施する漁業就業者支援フェアに出展し、県下の漁業の状況や水産会社の情報などを提供することで、漁業と縁のない若者が漁業へ新規参入できるように努める。</p> <p>【6】【7】【8】【9】【10】【12】</p>
活用する支援措置等	<p>【0】 広域浜プラン緊急対策事業</p> <p>【1】 水産物輸出加速化連携推進事業</p> <p>【2】 浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）</p> <p>【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>【4】 沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業</p> <p>【5】 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業</p> <p>【6】 経営体育成総合支援事業</p> <p>【7】 漁業収入安定対策事業</p> <p>【8】 漁業経営セーフティーネット構築事業</p> <p>【9】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</p> <p>【10】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>【11】 水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>【12】 水産業成長産業化沿岸地域創出事業</p> <p>【13】 養殖業成長産業化提案公募型実証事業</p> <p>【14】 水産業競争力強化漁港機能増進事業</p> <p>【15】 ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援</p> <p>【16】 スマート水産業普及支援推進事業</p>

<p>取組内容</p>	<p><b>【流通販売強化】 【0】 【1】</b></p> <p><b>① ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、JF直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、商社や生協等の量販店に対して積極的にPRし、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・JF兵庫漁連が中心となって輸出している県産のノリやカキについて、調査や展示会に参加した結果を基に、新たな輸出先や新商品を販売する。</li> <li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、県産のノリやカキ、ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン、その加工品等について、販売イベントを実施し、消費者等へPRするとともに消費拡大を図る。</li> </ul> <p><b>② ノリやカキ等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖関係JF、JF兵庫漁連及びノリ商社等が連携し、県産ノリの消費拡大を図るため、県産ノリを用い開発した新たな味の味付け海苔や佃煮などの商品を販売する。また、開発した新たな商品の普及に努める。</li> <li>・カキ養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、県産カキの消費拡大を図るため、県産カキを用い開発したオイスターソースや牡蠣飯の素、殻付き牡蠣（冷凍）などの商品を販売する。また、開発した新たな商品の普及に努める。</li> <li>・ワカメ、アサリ、トラフグ、サーモン等を用いた新たな商品の開発に取り組むとともに、新たに開発した商品の普及に努める。</li> <li>・シングルシード方式による養殖ガキの販売ルートについて、各水産で新たな輸出先・販売先へ本格的に販売を開始する。</li> </ul> <p><b>③ 価格形成力の高い出荷体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者及び養殖関係JFが連携し、高品質で価格形成力の高い出荷体制の構築に向け、大型ノリ自動乾燥機やその付帯設備、ノリ高性能刈取船、ワカメ加工施設、カキ殻洗浄機等の新たな施設整備を行う。</li> </ul> <p><b>【2】 【3】</b></p> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><b>④ 養殖業の持続的発展を目指した対策の推進 【2】 【3】 【13】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、安定した養殖経営の体制づくりに向けて、協業化や、作業船、加工施設等の共同利用施設及び機器等の導入を推進する。また、空き漁場の有効活用を推進するとともに、養殖業の持続的発展を目指し対策を実施する。</li> <li>・JF兵庫漁連のり研究所は、兵庫県等と連携し、高水温に強い品種や色落ちに耐性のある品種の生産に取り組む。</li> </ul>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・ノリ養殖業者、ノリ養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、IT技術による検査の合理化・効率化や伸ばし出荷などの新たな出荷体制に向けた機器の調整、出荷を本格的に行う。

**⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進**

・カキ養殖業者、カキ養殖関係JF、JF兵庫漁連及び兵庫県が連携し、西播地区におけるカキ養殖の自家採苗技術の普及、推進を行う。

**⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討**

・養殖関係JF、JF兵庫漁連及び兵庫県が連携し、アサリやワカメの自家採苗技術、カキのシングルシード養殖、ローカルサーモン養殖等の新たな養殖技術の普及に努める。

**⑦ 競争力強化に向けた取組**

・養殖業者は、施設・設備の共同利用や種苗の共同購入などの協業化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。

・養殖業者は、燃油及び配合飼料価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【8】

・養殖業者、養殖関係JFは、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入や養殖施設の整備・改修を実施する。【9】【10】【12】【16】

・なぎさ信漁連は、養殖業者が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【11】

・養殖業者は、コスト削減のため、統一的な航行規制や船底清掃を実施する。【15】

・漁港を管理する兵庫県及び各市町は、漁港の機能を推進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要な漁港施設等の整備を図る。【14】

**【漁場環境改善】**

**⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組**

・養殖関係JFは、養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】

・養殖業者、養殖関係JF及びJF兵庫漁連等は、豊かな海づくりに向け、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場・干潟等の再生や、山・川・海の物質循環を促進する「ため池のかいぼり」や「森づくり」を実施するとともに、栄養塩類の循環バランスに配慮した下水処理場等の「栄養塩管理運転の推進」等の普及を地域全体で推進する。【5】

・ノリ・ワカメ養殖業者及びノリ・ワカメ養殖関係JFは、海域の貧栄養化によって頻発しているノリ・ワカメの色落ち対策として、海域への栄養供給である「施肥」を行う。【5】

・ノリ・ワカメ養殖業者、ノリ・ワカメ養殖関係JF及びJF兵庫漁連は、

	<p>様々な検討を行い実施してきた海底耕耘について、海底耕耘が必要な場所を適切に選定して行うとともに、水中ドローンや多様な底質に対応可能な耕耘具を用いるなど新たな場所・方法を実施する。【5】</p> <p><b>【機能分担・連携】</b></p> <p>⑨ <u>機能分担・連携に関する取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養殖関係JFは、養殖業に関連する共同利用施設について、各地の機能分担等を検討し、より効率的な利用を図るために必要な整備を行う。 【2】【3】</li> </ul> <p><b>【中核的担い手】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>中核的担い手の育成・確保に関する取組</u></li> <li>・ JF兵庫漁連及び一般財団法人 兵庫県水産振興基金は、漁業者及びJF系統団体職員を対象に、「協同組合人養成講座」や「大輪田塾」等の研修会を実施し、本県水産業の中核的担い手を養成する。</li> <li>・ 養殖業者及び養殖関係JFは、新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などを活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保を行う。</li> <li>・ 全国就業者確保育成センターが実施する漁業就業者支援フェアに出展し、県下の漁業の状況や水産会社の情報などを提供することで、漁業と縁のない若者が漁業へ新規参入できるように努める。</li> </ul> <p>【6】【7】【8】【9】【10】【12】</p>
活用する支援措置等	<p>【0】 広域浜プラン緊急対策事業</p> <p>【1】 水産物輸出加速化連携推進事業</p> <p>【2】 浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）</p> <p>【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>【4】 沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業</p> <p>【5】 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業</p> <p>【6】 経営体育成総合支援事業</p> <p>【7】 漁業収入安定対策事業</p> <p>【8】 漁業経営セーフティネット構築事業</p> <p>【9】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</p> <p>【10】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>【11】 水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>【12】 水産業成長産業化沿岸地域創出事業</p> <p>【13】 養殖業成長産業化提案公募型実証事業</p> <p>【14】 水産業競争力強化漁港機能増進事業</p> <p>【15】 ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援</p> <p>【16】 スマート水産業普及支援推進事業</p>

#### (5) 関係機関との連携

##### 【流通販売強化】

- ・農協との連携を強化し、JAファーマーズショップへの販売促進を図る。
- ・県漁連、県水産課、県教育委員会、学校給食センター、コープこうべなどが参画する協議会等の活用により、学校給食への活用、小中学生への魚食普及、消費者ニーズに対応した新規加工品などの検討を進める。

##### 【競争力強化】

- ・国内外の市場での価格競争力を高めるため、研究機関と連携を図り、生産技術の改良に取り組み、県産の養殖水産物のブランド化を進める。
- ・一般社団法人 兵庫県漁船リース協会と連携し漁船の導入などを図る。

##### 【漁場環境改善】

- ・瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生することを目指して、海域への栄養供給や農業者と漁業者等が連携して行う「ため池のかいぼり」、海底耕耘、沿海市町の下水处理場で行われている「栄養塩管理運転」等、豊かな海づくりに関する取組を推進する。
- ・各地の下水处理場に働きかけ、冬季を中心に行われている「栄養塩管理運転」を通年への切り替えへ推進する。
- ・瀬戸内法の改正により、県が策定する「瀬戸内海の環境保全に関する兵庫県計画」について、協議会に参画し、施策等の進捗状況の点検等を行う。

##### 【中核的担い手】

- ・一般財団法人 兵庫県水産振興基金との連携により、県内の漁業者やJF職員を対象として研修会を実施し、本県水産業の中核的担い手を養成する。

#### (6) 他産業との連携

- ・農林漁業者と食品産業、商工業、医療、福祉、観光など様々な分野の事業者、大学などの研究者が交流・連携し県産農林水産物を活用した新たな商品、サービスの開発や創造的な事業活動を支援する「農イノベーションひょうご」に参画し、異業種との交流に取り組む。

### 4 成果目標

#### (1) 成果目標の考え方

- ・新商品の開発、販売の取組によって養殖水産物の魅力を発信し幅広い世代への魚食普及を図り、消費拡大に繋げていく計画としていることから、生産金額が多い「①ノリ及び②カキの加工品の販売額」の増加を成果目標として設定する。
- ・また、持続的な養殖業の振興を図るため、ノリ柵数やカキ筏数などの適正管理とともに底質改善等の取組として海底耕耘を実施する計画としていることから、「③海底耕耘の実施面積」を成果目標として設定する。
- ・さらに、これらの取組を客観的に見るために、公的な統計データにより算出した「④養殖ノリ平均単価」、「⑤養殖カキ平均単価」を成果目標として設定する。
- ・効率的な生産の振興や漁場環境の改善を計画していることから、「⑥養殖ノリ生産額」、「⑦養殖カキ生産額」及び「⑧1人当たりのノリ生産枚数」を成果目標として設定する。
- ・漁業者の減少と高齢化が進む中で世代交代を円滑に進めるため、意欲ある若手漁業者の確保と育成を目指すことから、「⑨新規就業者数」を成果目標として設定する。

(2) 成果目標

① 機能再編・地域活性化の取組に係る成果目標

①ノリの加工品の販売額の増加	基準年	令和2～6年度の平均値：ノリ 268,260 (千円)
	目標年	令和12年度：ノリ 295,080(千円)
②カキの加工品の販売額の増加	基準年	令和2～6年度の平均値：カキ 125,380 (千円)
	目標年	令和12年度：カキ 137,920 (千円)
③海底耕耘の実施面積の拡大	基準年	令和元～5年度の平均値：1,346 (ha)
	目標年	令和12年度：1,413 (ha)
④養殖ノリ平均単価の向上	基準年	令和元～5年度の5中3平均値：331 (円/kg)
	目標年	令和12年度：347(円/kg)
⑤養殖カキ平均単価の向上	基準年	令和元～5年度の5中3平均値：391 (円/kg)
	目標年	令和12年度：410 (円/kg)
⑥養殖ノリ生産額の増加	基準年	令和元～5年度の5中3平均値：18,380(百万円)
	目標年	令和12年度：19,300(百万円)
⑦養殖カキ生産額の増加	基準年	令和元～5年度の5中3平均値：3,029(百万円)
	目標年	令和12年度：3,180(百万円)
⑧1人当たりのノリ生産枚数の増加	基準年	令和2～6年度の5中3平均値：1,595(千枚)
	目標年	令和12年度：1,675(千枚)

② 中核的担い手の育成の取組に係る成果目標

⑨新規就業者数の増加	基準年	平成27～令和6年度の平均値： 52 人/年
	目標年	令和12年度： 250人（累計人数）

(3) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>①及び②ノリ及びカキの加工品の販売額の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年は、兵庫県漁連、漁協などで開発されたノリ、カキの加工品を製造・販売する県漁連水産加工センター及びのり加工センターの令和2～6年度の販売額の平均値を用いた。 ノリについては、水産加工センター及びのり加工センターの販売額を合算し、カキについては水産加工センターのみの販売額とする。</li> <li>・目標年については、ノリ、カキの加工品の販売額を基準年に対して10%増加させる設定とした。</li> </ul> <p>③海底耕耘の実施面積の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁場環境改善のために実施している海底耕耘について、令和元～5年度時点における海底耕耘の実施面積を基準に用いた。</li> <li>・目標年については、海底耕耘の実施面積の5%拡大を目標とした。</li> </ul> <p>④養殖ノリ平均単価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年については、兵庫県農林水産統計の養殖ノリ生産量と生産額を用いて平均単価を算出し（平均単価＝生産額／生産量）、令和元～5年度の5中3平均値を用いた。</li> <li>・目標年については、「浜の活力再生プラン」及び「浜の活力再生広域プラン」による単価向上の取組により、5%向上させることを目標とした。</li> </ul> <p>⑤養殖カキ平均単価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年については、兵庫県農林水産統計の養殖カキ生産量と生産額を用いて平均単価を算出し（平均単価＝生産額／生産量）、令和元～5年度の5中3平均値を用いた。</li> <li>・目標年については、「浜の活力再生プラン」及び「浜の活力再生広域プラン」による単価向上の取組により、5%向上させることを目標とした。</li> </ul> <p>⑥養殖ノリ生産額の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年については、兵庫県農林水産統計の漁業生産額を用いて平均金額を算出し、令和元～5年度の5中3平均値を用いた。</li> <li>・目標値については、「浜の活力再生プラン」及び「浜の活力再生広域プラン」による単価向上の取組により、5%向上させることを目標とした。</li> </ul> <p>⑦養殖カキ生産額の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年については、兵庫県農林水産統計の漁業生産額を用いて平均金額を算出し、令和元～5年度の5中3平均値を用いた。</li> <li>・目標値については、「浜の活力再生プラン」及び「浜の活力再生広域プラン」による単価向上の取組により、5%向上させることを目標とした。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑧1人当たりのノリ生産枚数の増加

- ・基準年については、JF兵庫漁連ののり共販資料の1人当たりの生産枚数を基に、令和2～6年度の5中3平均値を用いた。

- ・目標値については、「浜の活力再生プラン」及び「浜の活力再生広域プラン」による生産性の向上や漁場環境回復の取組により、5%向上させることを目標とした。

⑨新規就業者数の増加

- ・基準年については、兵庫県による新規漁業就業者数調査(平成27～令和6年度)の平均値を用いた。

- ・目標年については、就労支援事業等の活用により新規就業者の確保に努め、期間中の5年間で累計250人を目標とした。

- ・漁船漁業と養殖業の複合経営を想定し、両者を区分せず包含した数値とした。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
広域浜プラン緊急対策事業 (国)	収入向上等の実証的な取組の推進
水産物輸出加速化連携推進 事業 (国)	流通販売体制等の強化
浜の活力再生・成長促進交 付金(水産業強化支援事業) (国)	流通販売体制等の強化及び基盤整備の推進
水産業競争力強化緊急施設 整備事業 (国)	共同利用施設等の強化及び基盤整備の推進
沿岸漁業における自主的資 源管理体制高度化事業 (国)	資源管理型漁業
漁場生産力・水産多面的機 能強化対策事業 (国)	環境生態系保全と海の安全確保等の活動支援
経営体育成総合支援事業 (国)	漁業への就労希望者を対象とした研修支援
漁業収入安定対策事業 (国)	資源管理に取り組む漁業者の収入減少時に対する、積立金を活用した補助
漁業経営セーフティネット 構築事業 (国)	燃油・配合飼料の高騰に対する、積立金を活用した補助

水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）	中核的漁業者の所得向上に必要な漁船等の円滑な導入推進
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	中核的漁業者の所得向上に必要な漁具等の円滑な導入推進
水産業競争力強化金融支援事業（国）	漁船等購入時の借入に対する無利子化等の支援
水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）	収益性の向上と適切な資源管理の両立に必要な漁船等の円滑な導入促進
養殖業成長産業化提案公募型実証事業（国）	需要に応じた適正な養殖業を実現に貢献する技術開発であると認定された養殖業技術開発計画に基づく技術開発・実証に必要な研究開発
水産業競争力強化漁港機能増進事業（国）	本プランに基づく漁港の機能を増進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要となる漁港施設等の整備
ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援（国）	操業コスト削減のために省資源や省燃油に取り組む漁業者を支える支援
スマート水産業普及支援推進事業（国）	競争力強化や省人・省力に必要な機器を導入する際の補助